

TAKE FREE

DEWIDEN

PRESS

7

2026
July
No.55

八代の民俗芸能祭りを
知るならこの1枚！

笠鉾スタンプ

～8/1(土)



「妙見宮祭礼絵巻」(八代神社蔵)に描かれた約200年前の恵比須部分

恵比須さんと言えばエ○スビールのデザインにあるような釣竿を持ち、タイを脇に抱えたスタイルが多いが、笠鉾恵比須はタイに乗る恵比須さんじゃ。絵巻にも描かれておるから古くからそのスタイルだったのかもしれない。タイの口には釣り針を取り付けられているようになっておって、釣れたばかりのタイに乗り、波乗りするような勢いのある造形になっている。祭りの飾りにピッタリじゃの。ちなみにこの波とタイは、262年前、八代紺屋町の14歳の大工が作ったものじゃよ。当時は一人前の職人になっておる歳じゃそうだが、見事じゃわい。

釣り上げた魚は目出タ〜イ

笠鉾恵比須

8月1日(土)

恵比須さんは七福神の一人としておなじみの神さまじゃ。

笠鉾の恵比須さんは、一昨年修理されてより一層福々しくなったのはでんでんプレスの読者諸君なら知っておるじゃろ。



お祭り博士

予告

ちよつとだけお知らせ

八代妙見祭

ユネスコ登録10周年記念事業紹介②



ユネスコ登録10周年記念事業情報第2弾は、神輿みこしの展示についてだよ。

長さ約1kmもある妙見祭の神幸行列の中心になるのは何か知ってる？実は神輿なんだよ。中に神さまがいらっしやるんだ。

現在使われている神輿は平成10年（一九九八）に新調されたものんだけど、その前に使われていた神輿は、何と江戸時代から使われてきたものだったんだ。

熊本の殿さまが細川さんになった時に、八代に来た殿様のお父さん（細川三斎）が、妙見祭の復興のために神輿を寄付したんだ。今から388年前の寛永13年（12年説も有）のことだったんだ。神輿は妙見祭復興のシンボリック的存在で、大切に修理をしながら平成の時代まで使われてきたんだよ。すごいね★

今回は、15年ぶりにお祭りでんでん館で特別に展示することになったよ。詳しくは10月号でお知らせするね。



15年ぶりの特別展示

熊本県指定重要民俗文化財
細川三斎寄進の神輿



かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記⑬」

～代陽小学校で妙見祭の獅子舞体験！～

妙見祭の獅子と言えば、玉振りたまぶりや鉦打ちなど、子供たちが参加していますよね。いろんなところから参加者を募っている中嶋町獅子舞保存会さんですが、今回、笠鉦や亀蛇を出す校区の代陽小学校の3、4年生に興味をもってもらうため、初めて郷土学習の時間の中で獅子舞体験が行われました。獅子舞の演舞が始まると、迫力ある獅子舞に後ろに座っていた児童たちは立ち上がって食い入るように見ていました！（*艸*）

その後、楽器や獅子頭などに実際に触れる時間になると、児童たちはテンションマックスに！みんな初めて間近で見る獅子頭にかまれてみたり、楽器の太鼓や鉦を叩いてみたりしていました。中には玉振りの玉を持って、見たばかりの玉振りの動きを真似する子や、獅子の動きを真似する子もいて、みんなの観察力の高さに関心しちゃいました😊

今回の代陽小学校での獅子舞体験は、中嶋町獅子舞保存会さんの初めての試みでしたが、今後も継続されるといいな～と期待してしまいます😊

また、獅子舞に参加してみたい！という方は、夏のでんでん館のイベントでも相談できるブースが出る予定なので、続報を待っててくださいね♪



鉦を体験する児童たち



おしらせ

お祭りでんでん館体験講座

熊本県立装飾古墳館移動教室

「古代の組紐作りに挑戦」

とき 7月19日（日）

10時～12時

ところ お祭りでんでん館 会議室

費用 200円

定員 20人・年齢制限なし

※小学校未満は保護者付添いをお願いします。

申し込み 7月1日（水）9時から

電話で申し込んでください

申し込み・問合せ

お祭りでんでん館

☎ 37-18737



熊本県立装飾古墳館提供

8月11日（祝・火）今年の日体験DAY
は特別バージョンです。お楽しみに！



でんでんHP



Instagram



会議室予約

お祭りでんでん館（八代市民俗伝統芸能伝承館）〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1-47
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp